

Xanthomonas manihotis由来の β -N-アセチルヘキソサミニダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0934

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

この酵素は、複雑な炭水化物から非還元末端の β 1-2、 β 1-3、 β 1-4および β 1-6結合のN-アセチルグルコサミンを放出します。低濃度 (<50 mU/ml) のオリゴ糖とインキュベートすると、酵素はGlcNAc β 1-2Man、GlcNAc β 1-4ManおよびGlcNAc β 1-6Manの結合を区別できます。このような条件下では、酵素は基本的に β 1-2結合のGlcNAcのみを切断しますが、2つの条件があります。第一に、 β 1-2 GlcNAcは、置換されたマンノースがC-6で置換されている場合には加水分解されません。したがって、この酵素は三叉オリゴ糖の分析に有用です。第二に、保存されたペントサッカライドコアの β 結合マンノースが「ビセクティング」GlcNAcで置換されている場合、 α 1-3アームのマンノースに結合した β 1-2結合のGlcNAcのみが切断されます。酵素の濃度が高くなると、 β 1-4および β 1-6結合のGlcNAcも加水分解される可能性があります。

用途

真核生物における糖鎖の生合成、さまざまな発現系における糖タンパク質の生産、タンパク質の消化、糖タンパク質からのN結合およびO結合糖鎖の除去、糖鎖の配列決定

別名

β -N-アセチルヘキソサミニダーゼ; N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ, β -N-アセチルグルコサミニダーゼ

製品情報

種	ザントモナス・マニホティス
由来	E.coli
分子量	71000 daltons
濃度	4,000 ユニット / ml
単位定義	1ユニットは、1 nmolのGlcNAc β 1-4GlcNAc β 1-4GlcNAc-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC)の末端非還元性 β -N-アセチルグルコサミンを95%以上切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、総反応体積10 μ lで行われます。

保管・発送情報

保存方法

4°C、繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。